



# 文部科学省行政説明

## 「学校・家庭・地域の連携協力推進事業について」

生涯学習政策局長 神代 浩氏



社会教育課からは、平成二十二年予算を中心にお話をいたします。

まずは「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」で、これまで、各課バラバラに実施してきた事業を、学校、家庭、地域の連携・協力を推進する上で、いすれも有効かつ非常に大事な事業であるという観点から、今年度より生涯学習政策局を越えて大々的の補助事業として実施しているものです。「学校支援地域本部事業」、「放課後子ども教室推進事業」、「スクールカウンセラー等活用事業」などが含まれており、その中から各地域の事情に応じて事業を選択することができるようになることも、予算執行上でも使いやすく、事務手続き上の煩雑さもなくしていくことをねらったものです。

来年度は、「学校支援地域本部事業」など六つの事業に加えて、「スクールヘルスリーダー派遣事業」や「専門的な職業系人材の育成推進事業」など、四つの事業を追加することになりました。

ここでは、「PTAの積極的な関係が深い」「学校支援地域本部事業」と「放課後子ども教室推進事業」の二つに絞って説明いたします。

「学校支援地域本部事業」は、地域の方々の資力や能力を、学校教育の充実のために活用していただくというものです。その際、学校と地域をつなぐために、地域教育協議会という組織を設け、学校支援地域本部に地域コーディネーターを置いていただき、PTAが学校支援地域本部と役割分担することにより、PTAが学校と地域との間の調整を行い、登下校時の安全確保のための見回りや校庭の花壇づくり、芝生の手入れのお手伝い、あるいは学校の教育現場の中でも、ドリル学習の丸付けや図書の読み聞かせなど、先生たちだけではやり切れない内容に対して、ボランティアを募ってお手伝いをしていただく

次に、「放課後子ども教室推進事業」について説明いたします。放課後子ども教室は、放課後の子どもたちの居場所づくりを行う事業です。例えば大人が安全管理員として見守る中で体育館や校庭で子どもたちが遊ぶ場を確保したり、宿題のお手伝いや地域の方々との交流や一緒に昔の遊びをする場を作ったりするなど、様々な活動を実施しております。

優れた事例については、文科省の初等中等教育局のメールマガジンで紹介しており、文科省のホームページから登録することができ、生涯学習政策局長が発信している「ナビ・メールマガジン」にもご紹介いたします。参考にしていただきたいと思います。

上記の二事業については、今後、子どもたちを地域の人たちが支え、育てていく環境づくりを行う事業として、一体化していくことも考えて参ります。

続いて、「国民読書年」について説明いたします。これは、子どもに限らず大人においても、読書離れが深刻化していることが指摘される中、国民全体で読書活動を推進していく趣旨で、国会決議で定められたもので、文科省を含む国だけでなく、民間団体や出版社、マスコミなども協力いただき、様々なキャンペーンを行う予定です。PTAの皆さまにも読書活動の推進に是非ご協力、ご支援をいただきますようお願いいたします。

また、読書活動を進めて

として学校・家庭・地域連携及び活性化推進事業」の委託先の一つであるNPO法人教育支援協会が、PTAに関するアンケート調査を実施したことについて報告させていただきます。アンケート調査の結果は、「PTA組織が必要かどうか」や「今後委員を引き受ける意向はあるか」、「PTA役員を引受けてよかったです」といったような質問を行っており、その集計結果を見ますと、PTA組織については、「PTA役員を経験の有無にかかわらず、約三分の二の方が「必要である」と答えています。ただ、「今後役員を引き受けたい」という方は約四分の二に留まっています。このアンケート調査結果を基にシンポジウムがありまして、パネラーの一人として出席いたしました。ここでは、PTAの現状と将来をめぐって活発な議論が展開されました。「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

また、家庭教育支援基盤形成事業は、「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」という補助事業のメニューであり、①子育てサポーター、②子育てサポーターリーダー等の地域の家庭教育支援活動の中心となる学習会、③家庭教育に関する学習会の提供、④地域に家庭教育支援チームを組織し、状況に応じて各家庭や企業への訪問等による相談対応や情報提供、学習会のコーディネートといった活動を実施する自治体への支援を行う事業です。今年度の取組としては、例えば宮崎県都市では、訪問型家庭教育支援チームを組織し、25名(うち7名がPTA関係者)が4小学校区で活動しております。このチームは、子育てサポーターリーダーを中心として、民生委員や元教職員等で構成され、学校等と連携して相談活動や情報提供を行うとともに、なかなか講座や相談の場に出ることができない家庭に訪問しての支援も行っております。このよう

な家庭教育支援チームを主体とした取組を平成22年度は、家庭教育支援基盤形成事業という補助事業において支援していく予定です。

次に「全国家庭教育支援研究協議会の開催」について説明いたします。これは、家庭教育に地域でかかわっている地域住民や、学校、行政、PTAやNPO、企業の方に集まっていただき、効果的な家庭教育支援のあり方について研究協議を行うものです。東日本と西日本の2箇所で行うことになるとは思いますが、具体的な場所・日時が決まりましたらご連絡させていただきますので積極的なご参加をお願いたします。

次に、今年度実施した「親子でつくるわが家のルール」標語募集について説明いたします。これは、貴団体にもご協力いただき、国立青少年教育振興機構や国立女性教育会館とともに実施いたしました。全国から1万2564件という非常に多数の応募をいただき、この中から、昨年7月に7点の優秀作品を表彰いたしました。来年度もこのような取組を貴団体と協力して実施してまいりたいと考えておりますので、ご協力をお願いできればと考えております。

3つ目の、「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進については説明いたします。この運動は、今年度で4年目を迎へ、国民運動として非常に大きな広がりを見せております。

例えば、「全国学力・学習状況調査」によると、朝食摂取が早まり、平成21年度傾向が見られ、平成22年度は、「朝食を毎日食べる」小学6年生が89%であり、平成19年度の86%に比べ3

ポイント改善しております。また、平成13年度の教育課程実施状況調査時の76%と比べると10ポイント以上改善しております。起床時間につきましては、「朝7時までに起きる」小学6年生の割合が19年度の75%から21年度は77%と2ポイント改善しており、この運動の成果が現れていることが伺えます。

さらに、民間の会社が幼稚園児や保育園児を持つ保護者を対象として5年ごとに行っている、「子育て生活基本調査」により、家庭でのしつけや教育方針については、「朝起きる時間や夜寝る時間など規則正しい生活リズムが身につくようにしている」と回答した割合が、平成15年度では56.4%であるのに対して、平成20年度には70.7%と14.3ポイントも増加しており、親の意識の良変化が見られます。様々な要因があると思いますが、この国民運動も成果の一つではないかと思っております。

一方、生活環境の夜型化などの影響により、子どもの睡眠(就寝)時間の改善は依然として課題となっております。「学力調査」によると、小学6年生では、「就寝が11時以降」の児童は17.0%であり、「10時以降に就寝する」児童は56.8%にも上っております。

平成22年度は、子どもの生活習慣づくりに関する地域における効果的な取組方法等の普及啓発として、全国5カ所での研究発表会の実施を予定しております。また大学に依頼し、子どもの睡眠時間等が子どもの生活に与える影響などについて、研究も実施予定で

果も出ております。この背景としては、少子化や核家族化、都市化、地域の絆の希薄化といった社会構造の変化に加え、スマートフォンや携帯電話をめぐり、経済的に困難を抱える家庭の増加といったことが考えられます。このような問題は、個々の家庭の問題とするのではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成22年度は家庭教育支援に関する事業として、「家庭教育支援基盤形成事業」、「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

果も出ております。この背景としては、少子化や核家族化、都市化、地域の絆の希薄化といった社会構造の変化に加え、スマートフォンや携帯電話をめぐり、経済的に困難を抱える家庭の増加といったことが考えられます。このような問題は、個々の家庭の問題とするのではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成22年度は家庭教育支援に関する事業として、「家庭教育支援基盤形成事業」、「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

果も出ております。この背景としては、少子化や核家族化、都市化、地域の絆の希薄化といった社会構造の変化に加え、スマートフォンや携帯電話をめぐり、経済的に困難を抱える家庭の増加といったことが考えられます。このような問題は、個々の家庭の問題とするのではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成22年度は家庭教育支援に関する事業として、「家庭教育支援基盤形成事業」、「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

果も出ております。この背景としては、少子化や核家族化、都市化、地域の絆の希薄化といった社会構造の変化に加え、スマートフォンや携帯電話をめぐり、経済的に困難を抱える家庭の増加といったことが考えられます。このような問題は、個々の家庭の問題とするのではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成22年度は家庭教育支援に関する事業として、「家庭教育支援基盤形成事業」、「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

果も出ております。この背景としては、少子化や核家族化、都市化、地域の絆の希薄化といった社会構造の変化に加え、スマートフォンや携帯電話をめぐり、経済的に困難を抱える家庭の増加といったことが考えられます。このような問題は、個々の家庭の問題とするのではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成22年度は家庭教育支援に関する事業として、「家庭教育支援基盤形成事業」、「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

## 「家庭教育支援の推進等について」

生涯学習政策局長 高口 努氏



生涯学習政策局長男女共同参画学習課の高口と申します。本日お集まりの皆さま

方におかれましては、常日頃より家庭教育支援にご尽力賜りまして、ありがとうございます。

果も出ております。この背景としては、少子化や核家族化、都市化、地域の絆の希薄化といった社会構造の変化に加え、スマートフォンや携帯電話をめぐり、経済的に困難を抱える家庭の増加といったことが考えられます。このような問題は、個々の家庭の問題とするのではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成22年度は家庭教育支援に関する事業として、「家庭教育支援基盤形成事業」、「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

果も出ております。この背景としては、少子化や核家族化、都市化、地域の絆の希薄化といった社会構造の変化に加え、スマートフォンや携帯電話をめぐり、経済的に困難を抱える家庭の増加といったことが考えられます。このような問題は、個々の家庭の問題とするのではなく、社会全体の問題として取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成22年度は家庭教育支援に関する事業として、「家庭教育支援基盤形成事業」、「全国家庭教育支援研究協議会の開催」、「子ども生活習慣づくり支援事業」の3本の大きな柱で実施していく予定です。

# 「全国学力・学習状況調査、学校評価、コミュニケーション・スクールについて」

初等・中等教育局長 岩本 健吾氏  
参事官 学校運営支援担当



全国学力・学習状況調査につきましては、調査方式の見直しを行った上で、平成22年度においても実施することになりました。学力調査は、平成19年度に第1回をやりまして、20年度、21年度と毎年やっております。教科は、国語と算数、数学の2教科、対象は小学校6年生、中学校3年生で、今年4月20日を予定しております。

全国学力・学習状況調査によって全国的な学力の状況を把握し、その結果「こういふ点が弱い」という点について指導の工夫の必要がある、あるいは子どもの学習状況との関係で、学力との関係がどうなっているのかなど、多くのごことがわかってまいりました。調査の結果を踏まえて学習指導要領の改訂等を行い、「活用能力の育成」の充実など教育や指導の改善につなげてまいりました。また、すべての都道府県が改善計画をつくって教育施策の改善に取り組んでいただいております。市町村や学校レベルでも全国的に取り組みが進んでいきます。

このように、3年間で信

ばこの3年間でいろいろ学力調査の結果を踏まえて改善をしたけれども、その成果がほんとは出ていない、まだ何か足りないのかというところがある程度把握できるような状況にするため、都道府県別に、100回のうち95回は平均正答率が100%以内で収まるよう調査の精度を設定しました。都道府県ごとに小中学校数が違う、児童生徒数も違うため、それぞれの都道府県ごとに必要な抽出数を計算してまいります。

また、昨年度の調査のデータも全部入れて、正しいデータが取れる抽出数を計算しております。小学校と中学校を比べると、小学校の学校数が多いことから、低い抽出率でもデータが取れるというところで、全体の抽出率を平均すると小学校約25%、中学校約44%になります。

また、今回見直しをする

「子どもの携帯電話をめぐる問題に関する文科科学省の取組」

スポーツ・青少年局長 池田 輝司氏

近年、携帯電話の問題と



に当たって、市町村や学校において、抽出調査の対象でなくとも調査を実施する機会が欲しいという声がありますので、必要があればそれができるように希望利用方式というものを取りようとしてまいりました。これは抽出調査の対象でなくても、希望していただければ、文科科学省が全部国費で問題を作成して、印刷して、抽出調査と同じように配送します。その後のポイント、それから集計、それから活用していただくかという点については、すべて学校設置者の責任の下、各学校と協力して分担してやっていただくという方式となります。

希望利用方式の場合、採点等については、これは地方自治体の責任の下でいただくということになります。調査の結果は、学校設置者の責任の下、柔軟に活用できるというメリットがあります。学力の把握とこれに活用していただくという点については、一義的には学校の責任であり、また、日常的ないろいろな

手段で学力の把握を行う責任があります。その際、3年間の調査による全国的な信頼性の高いデータや、抽出調査の結果を参考にすることができ、さらにそれでは十分でないというときには、希望利用方式を使うことになり、またそれは学校なり地域によって考え方はいろいろあると思いますが、例えば地方独自の学力調査を行っている中で、希望利用による調査の必要がないというケースもあります。そこは地域でもあり責任を持って考えていただければ、その上で必要があれば文科科学省が問題を提供し、学校設置者の責任の下、採点等を行い、学力等の把握を充実していただくという趣旨です。

今回の抽出調査では、国と都道府県のレベルのデータは公表しますが、市町村別については集計しません。ただ、抽出調査の結果や希望利用方式の調査による調査結果を、市町村や学校が独自に集計すること

「国立青少年教育振興機構の事業について」

国立青少年教育振興機構 山本 裕一氏

第1は当該機構利用のご案内です。資料にある「関連施設一覧」には、全国の青少年交流の家や自然の家、施設設備や活動内容について情報を盛り込んでありますので、ご利用いただけます。第2は自然体験活動指導

とができます。これまでの国のほうで全部集計し、都道府県別に提供していたので、市町村別や学校別の結果を公表しないという問題がありました。今後はその抽出調査による児童生徒の個々のデータとか、あるいは希望利用方式の調査による調査結果を、市町村がそれを集計するかどうか、集計した上でさらにそれをどう活用するか判断していただくこととなります。また、公開についても、市町村別、学校別の結果を受け、行政機関がこれを保有すれば、情報公開条例が当然かかってきます。また、例えば都道府県教育委員会に市町村別、学校別の調査結果を提供したり、集計してもらえば、そこで情報公開条例により公開しなければならなくなる可能性があります。オープンにすれば、過度な競争と序列化につながる恐れがある一方、オープンにせず説明責任を果たせるのか、そこを十分考えていただくために、ぜひPTAの皆さん方には取り組んでいただきたいのが、できるだけ平日ごころから、お友だち同士の付き合いを親御さん方にお願いいたします。

ぜひPTAの皆さん方には取り組んでいただきたいのが、できるだけ平日ごころから、お友だち同士の付き合いを親御さん方にお願いいたします。

ただ、この判断は地方自治体に委ねていまして、これまでの、すべての市町村別、学校別の結果を都道府県教委に提供していただくことからは市町村や学校の意向に反して都道府県で情報公開条例が適用され公表・開示となってしまう例がありました。機械的に出てしまつたが、機械的に出てしまつたことは今回のシステムではそういうことはありません。

今後とも、全国的な学力調査を活用し、教育や指導の改善を図るとともに、教科の追加等のニーズや、今日の切り替えを行った調査方式の下の地方や学校現場における状況や意見等も踏まえながら、よりよい学力調査となるよう努力してまいります。新年度に於いて、平成23年以降の調査のあり方について検討いたします。教育関係団体や文科科学省なり担当官から話が聞きたいというお声がありましたので、文科科学省にご連絡ください。

また、このフォーラムで本年度制作したDVDを初めてご紹介いたします。昨年度、制作したDVDは好評であり、このDVDは2というところで、今回は問題解決編も含めたものを制作させていただきます。昨年、都道府県、市町村の教育委員会にお配りしたのですが、今回は是非活用していただきたいと思っております。

また、このフォーラムで本年度制作したDVDを初めてご紹介いたします。昨年度、制作したDVDは好評であり、このDVDは2というところで、今回は問題解決編も含めたものを制作させていただきます。昨年、都道府県、市町村の教育委員会にお配りしたのですが、今回は是非活用していただきたいと思っております。

「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の事務局を担っております。平成18年の運動開始以来、PTAをはじめとする多くの方々の協力により、朝食の摂取率がアップするなどの成果が上がっております。子どもたちの生活リズムをきちんとしていくことは、学力の向上にもつながっております。今後とも、本運動のさらなる協力をお願いいたします。

ただ、この判断は地方自治体に委ねていまして、これまでの、すべての市町村別、学校別の結果を都道府県教委に提供していただくことからは市町村や学校の意向に反して都道府県で情報公開条例が適用され公表・開示となってしまう例がありました。機械的に出てしまつたが、機械的に出てしまつたことは今回のシステムではそういうことはありません。

今後とも、全国的な学力調査を活用し、教育や指導の改善を図るとともに、教科の追加等のニーズや、今日の切り替えを行った調査方式の下の地方や学校現場における状況や意見等も踏まえながら、よりよい学力調査となるよう努力してまいります。新年度に於いて、平成23年以降の調査のあり方について検討いたします。教育関係団体や文科科学省なり担当官から話が聞きたいというお声がありましたので、文科科学省にご連絡ください。

また、このフォーラムで本年度制作したDVDを初めてご紹介いたします。昨年度、制作したDVDは好評であり、このDVDは2というところで、今回は問題解決編も含めたものを制作させていただきます。昨年、都道府県、市町村の教育委員会にお配りしたのですが、今回は是非活用していただきたいと思っております。







# 多彩なスクールプログラムを用意

## 伝統文化に親しもう

東京国立博物館



「気に入った展示作品を組み合わせてお皿作りをしよう」

伝統文化の宝庫で、ただ見学するだけなんてもったいない。東京国立博物館では、1名から380名までの児童・生徒を対象に、2010年度の新しいスクールプログラムを用意しています。新学期はもっと博物館に親しみ、伝統文化にふれてみませんか？博物館が初めてなら「はじめの東博」がお勧め。

博物館の歴史や役割、みどころをご紹介します。人気プログラムも用意しています。じっくり作品をみて、

ダンスもあります。少人数なら、作品を前に対話型鑑賞、絵巻の取り扱い体験、展示作品から取材する

楽しみ方をみつけたら、もう伝統文化が自分のものになっているはず。博物館の仕事に興味があれば、研究員への「裏側インタビュー」がお勧め。その仕事に就くために、ど

な勉強や心構えをしたらよいかを聞けば、将来は博物館の学芸員になれるかも。詳細は東京国立博物館ホームページ「学校の先生方へ」をご覧ください。

らはヨーロッパでのように古伊万里が愛されたかが伝わってきます。九州国立博物館は国際交流に視点を置きながら、日本の歴史を見つめていくというコンセプトを今回も大切にしています。今回はまさにそれにふさわしい特別展です。多くの方のご来場をお待ちしております。

【会場】九州国立博物館 福岡県太宰府市石坂4-17  
【観覧料】一般1,300円、高大生1,000円、小学生600円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

【観覧料】一般1,300円、高大生1,000円、小学生600円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

【観覧料】一般1,300円、高大生1,000円、小学生600円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

### 日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念

## パリに咲いた古伊万里の華

九州国立博物館 4月6日～6月13日

九州国立博物館では4月6日より6月13日まで、特別展として「パリに咲いた古伊万里の華」を開催いたします。この特別展は1659(万治2)年、オランダ東インド会社によって古伊万里のヨーロッパへの公式輸出が始まって350周年を記念するもので

頃までの約1000年の間、古伊万里はヨーロッパの王侯貴族を魅了してきました。柿右衛門様式や金襴手様式の色絵をはじめとし、色絵の陰に隠れがちな染付や輸出初期の染付や色絵などに集結しています。出品作はヨーロッパで収集されたUSUI COLLECTIONの優品です。そこか

は、信長や秀吉が覇を争い、豪華華麗な芸術が爆発的に発展した絵画の黄金期「桃山」その時流の中で等伯は、肖像画、金碧障壁画、水墨画などを、ときに精緻に

時たまに、信長や秀吉が覇を争い、豪華華麗な芸術が爆発的に発展した絵画の黄金期「桃山」その時流の中で等伯は、肖像画、金碧障壁画、水墨画などを、ときに精緻に

は、信長や秀吉が覇を争い、豪華華麗な芸術が爆発的に発展した絵画の黄金期「桃山」その時流の中で等伯は、肖像画、金碧障壁画、水墨画などを、ときに精緻に

は、信長や秀吉が覇を争い、豪華華麗な芸術が爆発的に発展した絵画の黄金期「桃山」その時流の中で等伯は、肖像画、金碧障壁画、水墨画などを、ときに精緻に

は、信長や秀吉が覇を争い、豪華華麗な芸術が爆発的に発展した絵画の黄金期「桃山」その時流の中で等伯は、肖像画、金碧障壁画、水墨画などを、ときに精緻に

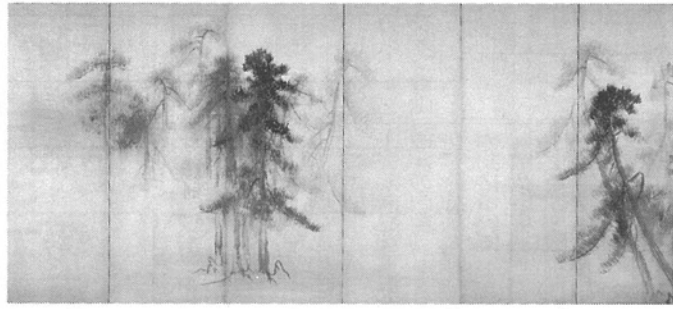
は、信長や秀吉が覇を争い、豪華華麗な芸術が爆発的に発展した絵画の黄金期「桃山」その時流の中で等伯は、肖像画、金碧障壁画、水墨画などを、ときに精緻に

京都国立博物館

### 没後400年 特別展覧会

## 長谷川等伯

4月10日から開催



国宝 松林図屏風(右隻) 東京国立博物館蔵

京都国立博物館は4月10日(土)より5月9日(日)まで「没後400年 特別展覧会 長谷川等伯」を開催します。水墨画の最高峰「松林図屏風」(金碧障壁画(金へきしようへきが)の至宝「楓図壁貼付」を描き、豊臣秀吉・千利休を魅了した絵師、長谷川等伯(1539~1610)に生

まれれた等伯は、はじめ「信春(のぶはる)」と名乗り、主に仏画を描いて活動していましたが、30代という決して若くない年齢で、京都に新たな活躍の場をもとめて上洛しました。

2010年は、ちょうど等伯没後400年に当たります。この記念すべき年、国宝3件、重要文化財30件をふくむ等伯の代表作のほぼすべてを公開する、史上最大規模の大回顧展を開催します。

◆開館時間：午前9時30分～午後6時、金曜日は午後8時まで(夜間開館(入館は閉館の30分前まで))  
◆休館日：月曜日(5月3日(月・祝)は開館)

### 東京国立近代美術館工芸館所蔵作品展

## 近代工芸の名品一花

会期は4月18日まで

花は人の心をなぐさめ、また浮き浮きとした気分を呼び起こします。そんな花の可憐な姿を、日本では昔から身のまわりのものに表し、四季のうつろいを楽しんできました。工芸の世界では花からインスピレーションを得た作品を今なお多数見出します。伝統的モチーフを継承した例も少なくありませんが、過去には振の向きもされなかったような路傍の花々にも、今日では作家の真摯な視線が注がれるようになりまし

と、花を題材とする新しい文様の創出という角度から、作家としての自覚を深めていくこととする試みさえあるのです。本展では、陶磁、染織、漆工、木工、竹工、金工、

そして人形の名品のなかから、花を主題とする約100点をご紹介します。古典的な梅や菊、あるいはアザミやナスなどの身近な草花も、作家の目を通して表された姿はどれも新鮮な魅力に満ちています。小さな文様からフォルム全体まで、工芸ならではの素材や技法の持ち味が息づいた「花をお楽しみください」。

◆会期 2010年4月18日(日)まで  
◆休館日 月曜日(2010年3月22日、3月29日は開館)(3月23日(火))  
◆会場 東京国立近代美術館工芸館(東京都千代田区北の丸公園1-1)  
◆観覧料 一般200円/大学生70円/18歳未満および高校生以下・65歳以上無料  
◆鑑賞プログラム「すれ

【会場】東京国立近代美術館工芸館(東京都千代田区北の丸公園1-1)  
【観覧料】一般200円、大学生70円、18歳未満および高校生以下・65歳以上無料  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

【観覧料】一般200円、大学生70円、18歳未満および高校生以下・65歳以上無料  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)



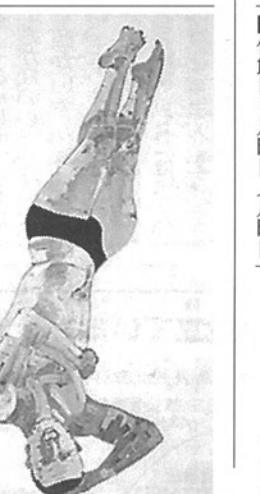
色絵花鳥文蓋付大鉢 1720~1750年代 高63・5釐

### アーティスト・ファイル展

国立新美術館 5月5日まで

アーティスト・ファイル展は、国立新美術館が毎年継続的に開催している、現代作家のグループ展です。「新しい美術の動向の紹介」という、国立新美術館の重要な使命のひとつを担う展覧会として、国立新美術館の学芸スタッフが日々の調査研究活動のなかから選り出した、今も注目すべき国内外の作家たちを、個展の集まりのような形で展示・紹介いたします。現代の多様化する文化と芸術の状況のなかから生まれた作家たちの個性的な表現をお楽しみください。

【会場】国立新美術館 企画展示室2E  
【観覧料】当日券 100円(一般)、500円(大学生) ※高校生、または18歳未満の方、および障害者手帳をご持参の方(付添の方)は無料  
【会期】2010年3月3日(水)～2010年5月5日(水・祝)  
【休館日】毎週火曜日 ※ただし5月4日(火)は開館  
【会場】国立新美術館 企画展示室2E  
【観覧料】当日券 100円(一般)、500円(大学生) ※高校生、または18歳未満の方、および障害者手帳をご持参の方(付添の方)は無料  
【会期】2010年3月3日(水)～2010年5月5日(水・祝)  
【休館日】毎週火曜日 ※ただし5月4日(火)は開館



【会期】2010年3月3日(水)～2010年5月5日(水・祝)  
【休館日】毎週火曜日 ※ただし5月4日(火)は開館

【会場】九州国立博物館 福岡県太宰府市石坂4-17  
【観覧料】一般1,300円、高大生1,000円、小学生600円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

【観覧料】一般1,300円、高大生1,000円、小学生600円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

【観覧料】一般1,300円、高大生1,000円、小学生600円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

【観覧料】一般200円、大学生70円、18歳未満および高校生以下・65歳以上無料  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

国立劇場 気軽に伝統芸能を楽しもう 歌舞伎・文楽の鑑賞教室

国立劇場では、気軽に伝統芸能を楽しんでいただくよう、歌舞伎・文楽の鑑賞教室を開催いたします。解説ステージと、名作の上演により、初めての方にも分かりやすくご鑑賞いただける公演です。

【観覧料】一般1,300円、高大生1,000円、小学生600円  
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
【休館日】月曜日(月曜日は祝日の場合は開館)

### 常任幹事会 常置委員会 報告

#### 常任幹事会

平成22年2月19日(金)  
10時~12時30分  
ホテルフロンティオン青山  
(芙蓉)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 成立宣言
4. 議長選出
5. 議事録署名選出
6. 議事

#### 常置委員会

15時~17時  
ホテルフロンティオン青山  
(梅)

1. 担当役員あいさつ
1. 委員長あいさつ
1. 委員長あいさつ
1. 報告事項
1. 臨時総務委員会(神戸市)の内容
2. 公益法人制度移行検討体制について

#### 教育問題委員会

平成22年2月18日(木)  
15時~17時  
ホテルフロンティオン青山  
(松)

1. 担当役員あいさつ
1. 委員長あいさつ
1. 委員長あいさつ
1. 協賛事項
1. 平成21年度「教育に関する保護者の意識調査」について
1. アンケート調査結果等
2. 文部科学省より照会の「教員の資質向上に関する意見」について
3. その他

#### 厚生委員会

平成22年2月18日(木)  
15時~17時  
ホテルフロンティオン青山  
(かつら)

1. 担当役員あいさつ
1. 委員長あいさつ
1. 委員長あいさつ
1. 協賛事項
1. 「たのしい子育て全国キャンペーン」について
2. その他

#### 常置委員会

平成22年2月18日(木)

### 第58回日本PTA全国研究大会 ちば大会



8月27日(金)分科会  
8月28日(土)全体会

#### 大会スローガン

房の国集い語れば実りあり!

#### 会場一覧

分科会(領域)	会場名	所在地
第1分科会(組織運営)	市川市文化会館	〒272-0025 市川市大和田1-1-5
第2分科会(家庭教育)	千葉市民会館	〒260-0017 千葉市中央区要町1-1
第3分科会(学校教育)	習志野文化ホール	〒275-0026 習志野市谷津1-16-1
第4分科会(表彰式・広報活動)	アパホテル 東京ベイ幕張	〒261-0021 千葉市美浜区ひび野2-3
第5分科会(地域連携)	船橋市民文化ホール	〒273-0005 船橋市本町2-2-5
第6分科会(人権教育)	八千代市市民会館	〒276-0044 八千代市蓋田町725
第7分科会(国際理解)	浦安市文化会館	〒279-0012 浦安市猫袋1-1-2
第8分科会(健康安全)	京葉銀行文化プラザ	〒260-0015 千葉市中央区富士見1-3-2
特1分科会(日本PTA)	幕張メッセ 国際会議場	〒261-0023 千葉市美浜区中瀬2-1
特2分科会(文部科学省)	幕張メッセ 国際会議場	〒261-0022 千葉市美浜区中瀬2-1
全体会	幕張イベントホール	〒261-0023 千葉市美浜区中瀬2-1

#### 大会趣旨

人を愛し、夢を抱き、大きく羽ばたく未来への道のりを守り創ることを伝えたい。美しい海、花薫る房総、ちばに集い「子どもたちのきらめく笑顔のために」語り合いましょう。

#### メインテーマ

花 PTA活動を通して、ひとり一人の花を咲かせよう!  
海 大海のごとく広いPTA活動にすすんで船出しよう!  
房 みんなのPTA活動で夢を果らせよう!

#### 全体会記念講演会

平成22年8月28日(土)全体会  
幕張イベントホール  
千葉市美浜区中瀬2-1-1  
元テニスプレイヤー  
松岡 修造氏



3月はたくましく成長した子どもたちに出会える季節です。巣立っていく彼らの、たくましく成長する姿が、実現できる目標となるように、それらに向けて一歩ずつ努力がどうもございました。

し、前進して欲しいと願っています。そして、一人ひとりの夢が叶えられるような豊かな社会の実現を目指すことが保護者としての役割ではないか?と悩んでいます。

今年度の広報紙発行にあたり、ご協力いただいた皆様方、また、ご愛読くださった方々に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

#### 「あるPTA会長の日記から」

先日、市内の中学校で卒業式を直前に控えた3年生による「学校を美しく会」が開催された。3年間お世話になった学校に対して「感謝」の気持ちをこめて卒業生がトイレ掃除を行う。1人1つの便器を担当し、その便器を1時間以上の時間をかけ新品のように磨き上げてヒカヒカに磨き上げる。私も一緒に参加させていただき、素晴らしい活動だと感じた。

実はこの中学校、数年

#### 「トイレ掃除に学ぶ」

「掃除に学ぶ会」のメンバー2人になり「トイレ掃除の日課」としていたそう。そのおかげで、花巻東高校のグラウンド脇のトイレの便器はいつもヒカヒカだったそう。その苑池選手の高校3年間の愛読書は、「トイレ掃除に学ぶ」を1年間に3回実施した。第1回目は、掃除が始まる前何人も生徒が逃げだしたり、掃除中に廊下で化粧をしたりという有様だったが、第3回目には全くそのようなことがなくなった。

その後この学校は

の強い思いから始まった活動で、平成5年11月岐阜県恵那郡明智町の日本大正村で第1回目が開催された。この時の参加者はわずか35名だったが、その後全国各地に波及し10万人以上の方々がたどり、一昨年偶然に教育関係の会議で「掃除に学ぶ会」の代表世話人の方と出会い、その縁がきっかけで今では毎月息子と活動に参加している。

鍵山秀三郎氏は「トイレ掃除の大切さについてこんなことを語っている。「人間は心を持っていて、その心は狭いより広い方がよい、冷たいより温かい方がよい。では、どうすれば温かい心を持つた人間になれるのか。それには、人の嫌がることを率先してみずから進んで引き受ける。汚れているもの、汚れているものをきれいにする。それらの行為が間違いなく、温かい心にしていく。それには掃除が一番である」と。

「ひとつ拾えば一つだけきれいになる」これからも真摯な姿勢でトイレ掃除に取り組んでいきたい。